

介護と人生

仕事・子育てと
どう両立させる？

日本エルターライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

5

キーパーソン

これまで介護者としての心構えや考え方などをお伝えしましたが、これからは具体的な内容についてお話ししましょう。

まず介護と人生の両立に欠かせない介護保険の利用ですが、その前にしておくことがあります。

キーパーソンを決めることです。



介護者になるのが普通ですが、介護者が高齢の場合や事業者との連絡がうまくできないような場合は、その方の親族などがなることもあります。キーパーソンには単なる介護保険サービスを使う上での事務的な窓口という役割以外に、医療や法的なことなど、さまざまな決定事項を相手に伝える役目があります。

当初は手続きやケアマネとの連絡程度だったのが、年数がたつと要介護度が上がり、入院や認知症に関する問題も出てきます。

例えば超高齢になると、寝たきりで意思の疎通もできなくなり、最後には口から物が食べられなくなることもあります。医師には「胃付け胃に直接食べ物を入

家族の決断を医師などに伝える

「本人は自宅で最期を迎えたいと言っていたし、このまま家に連れて帰ろう」となった時に、このことを医師に伝えるのもキーパーソンの役割です。食事だけでなく、排せつや呼吸など、老衰とも病気ともいえない状況でどこまで続けるのかを最後に決めるのは家族であり、伝えるのはキーパーソンなのです。

生死に関わる重大な事ですが、両方を試して良い方を選ぶことはできません。ですから、決断に対して後から批判したり責めたりしないことを全員が約束し、十分な話し合いと覚悟をもってキーパーソンを決めるべきなのです。

れる)か、点滴をするしか方法はない」と言われます。もちろん話し合いをします

が、何もせずに自然な死を迎えるのか、できる限りのことを最後まで続けるの

か、本人の意思が確認できない状態では、最後は家族が決めるしかありません。

「本人は自宅で最期を迎えたいと言っていたし、このまま家に連れて帰ろう」となった時に、このことを

医師に伝えるのもキーパーソンの役割です。食事だけでなく、排せつや呼吸など、

老衰とも病気ともいえない状況でどこまで続けるのかを最後に決めるのは家族で

あり、伝えるのはキーパーソンなのです。

生死に関わる重大な事ですが、両方を試して良い方を選ぶことはできません。

ですから、決断に対して後から批判したり責めたりしないことを全員が約束し、

十分な話し合いと覚悟をもってキーパーソンを決めるべきなのです。

れる)か、点滴をするしか方法はない」と言われます。もちろん話し合いをします

が、何もせずに自然な死を迎えるのか、できる限りのことを最後まで続けるの

か、本人の意思が確認できない状態では、最後は家族が決めるしかありません。

「本人は自宅で最期を迎えたいと言っていたし、このまま家に連れて帰ろう」となった時に、このことを

医師に伝えるのもキーパーソンの役割です。食事だけでなく、排せつや呼吸など、